

患者さんへの 感謝の気持ちは、 仕事で返します！



溝口 花穂さん／臨床歴4年
三ツ境駅前スマイル歯科 ■神奈川県
使用拡大鏡：

「朝、ユニフォームを着て診療室へ向かっているときはまだ体が寝てるな〜って感じなんですけど。患者さんを前にサージテルをかけると、急に歯科衛生士スイッチが入るんです！」
ハツラツとした表情でそう語ってくれたのは、溝口花穂さん。
ある患者さんとの出来事をきっかけに、プロ意識がむくむくと芽生えてきたといいます。

KAHO MIZOGUCHI



患者さんの一言が、私を変えた！

歯科衛生士になって1年目のとき、ある患者さんに怒られたことがあります。スクレーリングの手際が悪く、「時間がかかりすぎ！」と……。もともと器用なほうではないし、自分でもなかなかうまくできないなとは思っていたけど、やっぱりショックでした。テキパキこなす先輩たちの姿を見て、「私は人より頑張らないとダメなんだ」とすごく落ち込みました。

だけど、今振り返ると当然だよなと思ってます。患者さんにとって、担当の歯科衛生士が新人かどうかなんて関係ないじゃないですか。むしろ、私自身ももっとプロ意識を持たなきゃいけないな。そう気づかされてからはガラッと変わって、先輩にどんどん質問したり、スクレーリングの後も取り残しがないか先生に確認してもらったり。必死でこの仕事と向き合うようになったと思います。

実は、サージテルをちゃんと使いこなすようになったのもその頃からなんです。それまでは先生から言われるが

まま使っている感じで、逆につけないほうが見えるような気もして(笑)。でも、意識して使うと全然違いますよね。見るべきところだけ、本当にそこだけに集中できるから、やみくもに手をつけなくなるというか。余計な歯肉に触れないから痛みも与えないし、時間も短縮されて効率的です。「あなたのクリーニングは気持ちよくて寝てしまう」なんて言われることも！ 今なら、あのときの患者さんにも胸を張ってスクレーリングできるともいっていいですね。

「あなたがいて安心」は一番の褒め言葉！

この前、ビックリすることがありました。ある患者さんの口腔内が、いつもの間にか劇的に変わっていたんです！ここ数年診させていた代りの●代の男性で、最初にいらしたときは隣接がブランクだらけ。SRPへ入る前にとにかくスクレーリングとTBIが必要なほどだったのに……。このところ急にブランクが付かなくなって、隣接部もほとんどありません。3ヶ月に1回の精密なメイ

ンテナンスを行なったことで口腔内がコントロールされたのももちろん、セルフケアも少しずつ変わったのだと思います。「最近フロスも頑張っているし、禁煙も始めたんだよ」とこちらが今まで提案したこと何気なく実行してくれていたうれしかったですね。ただ掃除をしていればいいわけじゃなくて、こうして結果を出してこそプロってことですよね。

今の私にとって一番の褒め言葉は、「ああ、今日もあなたがいて安心した」。私がいるから歯医者さんも怖くない、私がいるからお口の中もスッキリする。そして、むしろ歯や歯周病にもならない。そう感じてもらえると、こちらもホッとします。実はさきほど「よかった、今日もいたね」と言ってもらえたんです。テンション上がりますよね(笑)。

歯科衛生士になりたての頃は失敗してしまっただけで、そのおかげで学べたし、今の患者さんにも喜んでもらうことができています。すべては、あのとき注意してくださった方がいたからですね。教えていただいたことへの感謝の気持ちを、今後も仕事で返していこうと思っています。